

第4次牧之原市地域福祉計画・地域福祉活動計画（素案）に対するパブリックコメントの結果について

- 1 実施期間 令和5年11月28日（火）から令和5年12月27日（水）まで 30日間
- 2 提出意見 6名 9件
- 3 意見の内容と回答

No.	項目	ご意見・ご質問	回答（市の考え方）
1	第2章 現状・課題	<p>福祉、子育て、教育の市予算が50%を超えるのに、一般市民はそれらの制度やサービス、状況は自ら視ようとしないと気づけません。本当に必要とする人は視ようとしませんが、それが無くても、見えてくる街になればもっと過ごしやすい牧之原市になるんじゃないかと感じます。</p> <p>調査表では、ボランティア団体、会員数は増加傾向にあるが、実際自分の携わっているサークル側からみると、確かに会員数はふえたと感じるし、ボランティア団体も増えたように感じるも、横との繋がり（ボラ連から見た感じ）は希薄に見える。</p> <p>自分たちの活動に精一杯で他の団体の繋がりまでは手が回らないのか、他の団体とのつながりは不要と考えるのか。そう言った意味も踏まえ、次世代を担う人材育成、会員定着は今後の課題ともいえる。</p>	<p>多くの市民が地域福祉に関心を持ってボランティア活動や地域活動に参加することができるまちを目指すとともに、活動を通じて地域福祉の担い手の育成を進めていきます。</p>
2	同上	<p>町内会での参加率が高いので、まずは町内会で仲間作り交流を広げ、市で取り組んでいる事業を知ってもらい、参加してもらおう。初めての方1人では参加しづらいので仲間となら参加しやすいのではないかと。</p>	<p>地域活動等に気軽に参加できる環境づくり、きっかけづくりを進めていきます。</p>
3	同上	<p>アンケート結果をみて市民からの回答数が50%を下回っているのが驚きました。又、調査結果で各項目を判断し対策をすることもかもしれませんが、P32のイの福祉施設が整備されているまちに対し、「そう思う」が4.3%、ウ市民の福祉活動が活発に行われているまちに対して「そう思う」が3.2%という結果に市民は福祉に対して全然浸透されていないのではないかと思います。「どちらかといえばそう思う」という回答が10%~20%ありますが、良くみて半分のパーセントではないかと思います。</p> <p>災害等身近な質問は高い数字は見られますが、高齢化が進むなか、福祉の重要性が高い事を市民に理解して頂くようにアンケート結果だけで考察しないで進めて頂きたいと思えます。</p>	<p>多くの市民に福祉への関心を持っていただくよう、年齢やニーズに合わせた情報提供や地域・学校における福祉教育を進めていきます。</p>

No.	項目		ご意見・ご質問	回答（市の考え方）
4	第4章	施策の展開	子どもの頃からやっている事が、大人になっても当たり前になるような取り組みや子供の頃からの福祉教育は大切。ボランティアも暇な人がやる意識ではなく、普段からベルマークを集めたり、ちょっとしたボランティアをしている事を伝えれば意識が高まると思います。	「地域や学校における福祉教育の推進」を重点取組として、子どもから大人までの地域福祉に対する意識の醸成・向上に取り組めます。
5	同上	同上	高齢者はサロン、町内会で出前講座に参加して消費者被害について聞く機会があるが、若い人は今インターネット被害にあっても訴えることが少ない。そう言う出前講座もやれると良い。	市内の中学生を対象に出前講座を学校の授業で行っています。高校生については県が主催し出前講座を実施しています。今後も引き続き、誰もが安全・安心に暮らせる地域づくりを目指して、あらゆる年代の消費者被害を未然に防止するための、消費生活出前講座・啓発活動を実施していきます。
6	同上	同上	<防災訓練> 今の高校2年生以下は、冬の防災訓練の炊出し訓練に参加できていません。昨年も冬の訓練が中止になりました。訓練日の予備日とかは設けることはできないのでしょうか。	防災訓練は、市及び自主防災会の訓練実施計画に基づく、市全域での実施となるため予備日は設けておりませんが、本計画では、「防災・防犯活動の推進・充実」を重点取組として、自主防災活動を支援するとともに、災害に備えた支え合いの地域づくりを進めます。
7	同上	同上	<地域「絆」づくり事業> 萩間地区では、昨年11月にウォーキングを実施しました。参加の告知が足りなかったのか参加者が少なかったのですが、小学生から高齢者までいろいろな方達とふれあえて良かったと思います。イベントは告知が大切だと思いました。	市や地区が行う取組を市のホームページやSNSを通じて情報発信していくとともに、市内小学校地区を単位とした地区自治推進協議会が行う絆づくり事業に対して引き続き、支援を実施していきます。
8	同上	同上	<ボランティア活動> 昨年小学校の夏休みに萩間公民館で行われた「寺子屋?」「宿題の見守り?」に数日参加しました。子供達といろいろ話ができ楽しかったです。地域の行事でもないとは子供達とあまりふれあうことがありません。学校の奉仕作業など、部外者でも参加できるとよいなあ～と思います。	「地域や学校における福祉教育の推進」を重点取組として、子どもから大人まで、地域の行事やボランティア活動などのふれあいを通じて支え合いの心を育む取組を進めていきます。
9	同上	同上	<地域活動> 働く女性が増え、活動・地域行事に休日に参加することに渋る。でも、参加してくれた人達からあまり不満の声は聞かない。やはり、みんな地域の人達とふれあいは楽しく、大切だと思っているのだと思う。	「地域活動への参加の促進」を重点取組として、地域活動やボランティア活動の情報発信や気軽に参加しやすい環境づくり、きっかけづくりを進めていきます。